



仁淀病院からのお知らせ

外来看護について



仁淀病院 外来看護師長 小島千代香

外来看護師の役割

皆様が病院を受診され、受付を済まされた後、最初に出会うのが外来看護師です。外来看護師は病院のイメージを印象付ける、いわゆる病院の『顔』ともいえる存在です。

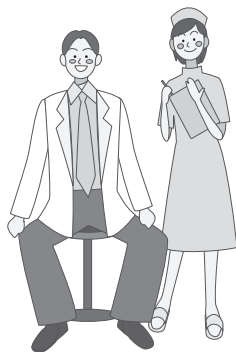
外来では医師の診察補助業務の他に、安全に迅速に適切に診療が受けられるよう、具体的な内容を聞くための問診をしたり、採血や注射などの処置をすることで患者様と関わっています。また、治療上不明な点や気をつけていただきたいことなど、患者様が自宅に帰られても困らないようお話をさせていただいています。

一人の患者様に他職種で関わるチーム医療にも参加し、地域連携室や訪問看護ステーションなど、他部門との連携で、患者様にとって一番良い方法を一緒に考えることのできる環境作りもしています。

「入院医療から在宅医療へ」の流れの中で外来看護師の役割は、患者様の様々なニーズに対応できる知識と技術を提供し、安心して在宅療養を送られるよう支援をすることです。

チーム医療とは

チーム医療とは、医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士・作業療法士・ケアワーカーなど2つ以上の専門職がそれぞれの専門性を活かし、かつお互いに協力して患者様のニーズに対応する保健医療サービスを提供することです。チーム医療には、糖尿病専門外来チーム・緩和ケアチーム・外来化学療法チーム・栄養サポートチーム・褥瘡対策チーム・感染対策チームなどがあり、仁淀病院でも取り組んでいます。外来看護師も各チームに参加し活動を行っています。



糖尿病専門外来チームでの 看護師の活動

糖尿病専門外来チームでは、専門外来に受診された患者様を対象に定期的に専門医が診察し、さらに糖尿病療養指導士を含めたスタッフで指導を行い、糖尿病教室、公開講座、料理教室などを開催しています。また月に1回学習会を開き、知識の向上にも努めています。外来看護師は診察補助の傍らで、自宅でのように療養しているのか、治療が継続されているか確認を行ったり、患者様のお話を伺うことでより良い療養生活を一緒に考えさせていただいています。その一環として、糖尿病教室参加者へのフットケアを行っています。フットケアとは糖尿病患者様の足を一緒に観察しケアをすることです。コミュニケーションを楽しみながら合併症の予防や早期発見ができ、自宅でもできるよう支援させていただいています。

緩和ケアチームでの 看護師の活動

療養を受けられる患者様及びご家族は様々な苦痛を強いられています。身体的なもの、精神的なもの、社会的なもの、様々な苦痛が障害にならないように対応し、予防することで生活の質・命の質を改善するための取り組みが緩和ケアです。外来看護師は在宅療養されている対象の患者様の状態の把握に努め、医師や薬剤師・ケアワーカーなど他メンバーに情報を与え、ご家族、対象者を含めてより良い療養環境を一緒に考えられるよう支援しています。そのため、訪問看護ステーションとの連携も密にしています。専門的な知識と技術の向上を目指し、定期的に研修会を開催したり、院外への研修にも参加しています。困っていること、苦痛に感じていることなど気軽に相談できる窓口としての役割を果たせるよう努めています。

発足して間もないチームですが患者様個々に応じた関わりで緩和ケアに取り組んでいます。